

環境市民活動 助成金セミナー2017 開催速報



- 開催日……2017年10月28日(土)
- 時間……13:30~17:00
- 会場……四日市市なやプラザ 3F 音楽室大・会議室5
三重県四日市市蔵町 4-17
- 主催……NPO 法人 地域の未来・志援センター
一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
- 共催……公益財団法人ささえあいのまち創造基金
- 協力……環境教育ネクストステップ研究会
いなべ市市民活動センター
環境省中部環境パートナーシップオフィス
なごや環境大学
- 後援……三重県、四日市市、四日市市教育委員会
- 参加者数……17名(目標数40名)
その他16名(講師、理事、スタッフ)

< 当日プログラム >

時 間	内 容	登 壇 者
13:30	セミナー開会	
13:35-13:45	主催・共催団体挨拶・趣旨説明	地域の未来・志援センター 竹内由美子 (一財)セブン-イレブン記念財団 野崎佳子氏 (公財)ささえあいのまち創造基金 松井真理子氏
13:45-14:37	助成金活用の事例発表①	環境ボランティアサークル亀の子隊 代表 鈴木吉春氏
	質疑応答 A(3分)	質問者:地域の未来・志援センター 竹内 回答者:環境ボランティアサークル亀の子隊 鈴木氏
	質疑応答 B(2分)	参加者から鈴木氏へ
	助成金活用の事例発表②	NPO 法人中部リサイクル運動市民の会 副代表理事/事務局長 和喜田恵介氏
	質疑応答 A(3分)	質問者:地域の未来・志援センター 竹内 回答者:中部リサイクル運動市民の会 和喜田氏
	質疑応答 B(2分)	参加者から和喜田氏へ
14:37-15:33	助成制度紹介	
	1.「2018年度環境市民活動助成」	(一財)セブン-イレブン記念財団 野崎佳子氏
	2.「チャリティバンク」	(株)ラッシュジャパン 種村香奈美氏
	3.「カワサポ」	(一社)ClearWaterProject 岡本亮太氏
	4.「ささえあい基金」	(公財)ささえあいのまち創造基金 松井真理子氏
15:33-15:41	環境活動助成金制度一覧案内、入会案内、アンケート記入	
15:41-15:44	閉会挨拶	地域の未来・志援センター 竹内由美子
15:45	セミナー閉会	
15:45-15:55	休憩	
15:55-17:00	個別相談会	相談受付団体(資金調達制度): 環境ボランティアサークル亀の子隊 中部リサイクル運動市民の会(※15:45-16:15) (株)ラッシュジャパン「チャリティバンク」 (一社)ClearWaterProject「カワサポ」 (公財)ささえあいのまち創造基金「ささえあい基金」 地域の未来・志援センター 運営相談

◆主催団体挨拶・趣旨説明

開会に先立ち、主催者の当法人理事長竹内由美子・(一財)セブン-イレブン記念財団野崎佳子氏、共催者の(公財)ささえあいのまち創造基金代表理事松井真理子氏から、開会の挨拶と趣旨説明が行われ、本セミナーを活動のステップアップ・拡大、人脈づくりのきっかけとして活かしていただきたいと述べられました。



← 【開会挨拶・趣旨説明】
地域の未来・志援センター
竹内理事長



↑ 【開会挨拶】
(一財)セブン-イレブン記念財団
野崎氏



← 【開会挨拶】
(公財)ささえあいのまち創造基金
松井代表

◆助成制度活用事例発表①

環境ボランティアサークル亀の子隊

次に「環境ボランティアサークル亀の子隊 (以下亀の子隊)」代表 鈴木吉春氏より、団体紹介と助成金活用事例発表が行われました。

渥美半島の西の浜で海の環境を守るための自然美化活動や、海の環境を学ぶ会を中心に活動を続けてきた亀の子隊が、助成金活用を始めた経緯や助成金を受けたことでのメリット、助成金活用実績を始め、申請書を書くにあたっての注意点などのアドバイスをわかりやすくご説明いただきました。



↑ 【事例発表①】
環境ボランティアサークル亀の子隊 鈴木氏



質問する竹内理事長 ↑

続いて、当法人竹内理事からの「助成金申請などでの失敗談」について質問が投げかけられ、「初めて助成金申請をした時に船の費用も助成してもらおうと思ったが、見積もりが取れずに助成申請費用から外した」と、経験談を話していただきました。

◆助成制度活用の事例発表②

中部リサイクル運動市民の会

次に「中部リサイクル運動市民の会（以下中部リサイクル）」副代表理事兼事務局長 和喜田恵介氏より、団体紹介と助成金活用の事例発表が行われました。

和喜田氏からも、始めに団体設立当時の背景や現在のリユース&リサイクルの仕組みなどの団体紹介、助成金の実績についてお話いただきました。

次に、たくさんの助成金制度を活用してきた経験から、助成金獲得のコツや注意点、採択後のコツなど、助成金を活用するためのアドバイスがありました。また、助成金獲得の必要性の見直しや、獲得目的の明確化など、申請以前のポイントも盛り込まれ、申請上級者にも参考になるお話をお聞かせいただきました。



↑ 【事例発表②】
中部リサイクル運動市民の会 和喜田氏

竹内理事から助成金を受けるようになってからの変化について質問があり、活動の足場がリサイクルからリユースに変わったこと、助成団体（他者）に自分たちの事業計画を客観的に見てもらう事で気づきがあったことを上げられました。また、参加者からも活発に質問が投げかけられました。



↑ 和喜田氏に質問する参加者 ↑



◆助成制度説明

1. 「2018 年度環境市民活動助成」助成金制度説明

一般財団法人セブン-イレブン記念財団 野崎佳子氏

事例発表に続き、(一財)セブン-イレブン記念財団野崎氏より助成制度紹介が行われました。

団体の紹介と助成金財源、2017 年度助成状況の説明の後、公募助成パンフレットを使って助成制度の説明がなされました。4 種類の助成の紹介、昨年度からの変更点、申請の際のお願いなどと合わせ、マッチングの大切さなど、助成申請に際の注意点についても説明がありました。

終了後のアンケートでは「助成内容がよく分かった」との声がありました。



↑ 【制度説明】
(一財)セブン-イレブン記念財団 野崎氏



↑ 【制度説明】
(株)ラッシュジャパン 種村氏

2. 「チャリティバンク」助成金制度説明

株式会社ラッシュジャパン 種村香奈美氏

(株)ラッシュジャパン 種村氏からは、始めに会社紹介、企業理念(信念)について説明があり、人・動物・環境の3者が持続可能でハッピーな社会を目指すことをポリシーとしていること、また『チャリティバンク』は助成先の団体・店舗の顧客・(株)ラッシュジャパン(企業)の3者が関わり合いながら社会を良くすることを目指していることなどの特徴が説明された後、助成制度の詳しい説明がありました。

3. 「カワサポ」クラウドファンディング制度説明

一般社団法人 ClearWaterProject 岡本亮太氏

(一社)ClearWaterProject 岡本氏からは、始めにクラウドファンディングについての説明がありました。続いて『カワサポ』の特徴やサポート体制、他のクラウドファンディングにはない細かな気配りなどについて説明されました。最後に『カワサポ』事例紹介があり、昨年の助成金セミナー参加者のプロジェクトの紹介がありました。

アンケートでは「クラウドファンディングが(団体や活動の)PRになる」という点が参考になったとの声がありました。



↑ 【制度説明】
(一社)ClearWaterProject 岡本氏



↑ 【制度説明】

(公財)ささえあいのまち創造基金 松井氏

4. 「ささえあい基金」寄付金制度説明

公益財団法人ささえあいのまち創造基金 松井真理子氏

(公財) ささえあいのまち創造基金 松井氏からは、地元四日市市とその周辺地域を対象とした寄付金『ささえあい基金』について説明がありました。

この団体は地域の課題解決や地域の活性化等の公益活動を、地域全体で支え合うことを目的としており、人・モノ・お金の3つで市民の公益活動を応援していることが説明されたあと、『ささえあい基金』についての詳しい説明がありました。

◆閉会挨拶

最後に当法人竹内理事長より閉会挨拶があり、今回の助成金セミナーで説明のあった各制度は環境への循環、地域の循環を目指す循環型の制度であることから、地域の循環型社会を創るために参加者の活動がいつそう活発になることへの期待が述べられ、本セミナーは終了しました。



↑ 【閉会挨拶】

◆個別相談会

セミナー終了後は、会場を隣の会議室5に移して個別相談会を実施しました。登壇いただいた助成団体のブースのほか、事例発表をさせていただいた2団体、当法人理事による運営相談のブースも設け、参加者からの個別具体的な相談や質問に、ていねいにお答えいただきました。



↑ 【個別相談会】相談する参加者 ↑

以上